i.i.STORY

今治にハマった皆さんに、今治の魅力や活動についてインタビュー

i'm into Imabari!

File:19

Person

株式会社むらかみかいぞく
代表取締役 **村上周平さん**

2024年10月、今治市吉海町に会員制のコワーキングスペース「LLACハウス in しまなみ」がオープンしました。運営しているのは、株式会社むらかみかいぞく。「猫のように生きる」をコンセプトにしたNFTプロジェクト「Live Like A Cat（LLAC）」など、「自分にあった生き方や働き方をつくること」をテーマに事業を展開する、同社代表の村上周平さんにお話を伺いました。

瀬戸内の島から生まれる、新しい働き方

LLACハウスは、シンプルでスタイリッシュなデザインに木の温もりを融合させた、会員制のコワーキングスペースです。周囲の風景と調和するよう設計された建物には、広い庭につながる縁側もあり、開放的で一体感のある空間が広がっています。天井の高低差を活かしたデザインの中には、音声配信やウェブ会議に最適な個室ブース、複数人用テーブル席、カウンター席、セミナーや会議に対応したスペースなどが整備されています。さらに、キッチンや、クッションを備えたロフトスペースもあり、目的や気分に応じて自由に過ごすことができます。

木のぬくもりを
感じるインテリア

リラックスしながら
仕事もできる
ロフトスペース

建築には環境に優しい建材「CLT」を使用し、森林資源を活用したサステナブルな要素も取り入れられています。「この設計にはコミュニティの仲間のアイデアをたくさん反映しました」と語る村上さん。この施設は、全国のコミュニティメンバーの中にいる一級建築士や専門分野のプロ、さらに地元の友人や知人たちの協力が集まって誕生しました。

生き方を見直した先にあったもの

村上さんは今治市吉海町出身。大学進学を機に関東へ移り、卒業後は東京の大手企業に就職しました。しかし、憧れの東京生活で待っていたのは、マルチ商法に手を染めたことによる500万円もの借金。抑うつ状態に陥り、会社に行けなくなったことで、25歳で「島へ強制送還」されてしまいます。「あんなに抜け出したかった場所にまた戻ってきてしまった。当時は人生のどん底でした」と、当時の苦しい心情を包み隠さず話してくれました。

島に戻った村上さんは、父親の看護をしながら市内の企業で会社員として働き、父親を見送った後、2017年からSNS、ブログ、音声サービス配信などを開始します。きっかけはイケダハヤトさんの『まだ東京で消耗してるの？』（幻冬舎）という本。この本を読んで、地方にいてもビジネスはできることに気づかされたといいます。意気揚々と始めたものの、初月のブログ収益はわずか24円。それでも諦めず、マーケティングの勉強をしながら1年間コツコツ書き続けた結果、収益は生活できるレベルに達し、独立1年目には月200万円を超えるまでになりました。現在、SNS総フォロワー数は23万人以上。オンラインスクール「フリーランスの学校」の受講者は2.5万人を超え、NFTプロジェクト「Live Like A Cat（LLAC）」では取引高約12億円を達成、2022年には著書『お金の不安ゼロ化メソッド』（KADOKAWA）を出版するなど、多方面で活躍しています。

リアルなつながりを求めて

LLACハウスは、「地元に拠点を作りたい」という村上さんの思いから生まれました。「正直なところ、僕自身が淋しかったのかも。たくさんの人とSNSでのつながりがあっても、リアルな実感がなかった。だからこそ、人が直接出会える“場”を作りたかったのかもしれません」（村上さん）。壁一面の本棚には、誰かに勧めたい本を陳列できる「シェア型の本棚スペース」のユニークな企画も準備中です。自分にとって特別な本を、誰かに紹介してリアルに手に取ってもらえるなんて素敵ですよね。そんなつながり方も、この“場”があるからこそ得られる楽しさ。利用者それぞれが持つスキルや経験を活かし合い、個人では実現できない新しいプロジェクトが生まれることも期待できます。人が集まり、共に学び、共に成長することがLLACハウスの醍醐味であり、人々が交流しながら一緒に何かを創り上げることができる「共創」の可能性も広がっています。

新しい自分に出会う場所

田舎暮らしに憧れ、夢や希望を抱いてIターンやUターンを選ぶ人がいる一方で、村上さんのように都会から望まず帰らざるを得なかった人や、事情があって地方に留まらざるを得ない人もいます。「LLACハウスが、地元の子どもたちや住民にとって生き方の選択肢を広げる場所になれば」と語る村上さん。「都会に行かなくても、地方から世界とつながり、働く選択肢を持てることを知ってほしい。地方にいてもできることはたくさんある」。（村上さん）

村上さんが思い描く未来とは、ここで生まれたつながりが、人々の生活や働き方に新たな刺激を与え、それがまた次の出会いへとつながっていく、新しい循環なのかもしれません。「Live Like A Cat（猫のように生きる）」というコンセプトのもと、それぞれが自分らしい心地よい生き方を模索し、実現できる場へ。LLACハウスは、地方から生まれる自由で新しい働き方とクリエイティビティを育む拠点となっています。

注目のNFTアート
Live Like A Cat（LLAC）

グレーを基調とした
スタイリッシュな外観

あなたの i'm into をおしえてください

最近ランニングが日課という村上さん。もともと野球少年だったそうですが、大人になってから走る機会はあまりなかったとか。島内の美しい自然を楽しめるランニングにハマり、年明けには地元の友人たちと「大島一周駅伝大会」に出場することが決まっているそうです。「しかも、アンカーなんですよ。どうしよう～」と笑う村上さん。頑張ってくださいね。健闘をお祈りしています！

「I' m into ランニング」村上さんはランニングに夢中です！

●株式会社むらかみかいぞくHP